

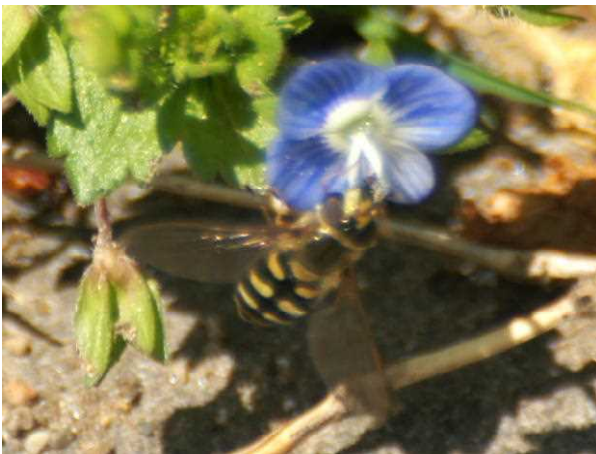
牛久：学校周辺に見る自然

第11号 牛久二小

2020年4月25日発行

＜ 春の校庭 ～⑥その他の雑草と虫 その1 ＞

皆さん、こんにちは。牛久二小の春の校庭「雑草とそこに来る虫たち」、今回はその他の雑草と虫から、比較的どこの学校の校庭でも見られそうなものを紹介します。



オオイヌノフグリ(上左)とその花粉をなめるコマバムツホシヒラタアブ(下)。タチイヌノフグリ(上右)。

青く小さな花をたくさん咲かせる、オオイヌノフグリ。春早くから咲き始めます。ハナアブのなかまやミツバチが来て花粉や蜜を食べますが、キタキチョウなど大きめのチョウが蜜を吸いに來ることもあります。これとよく似たもっと小さな花をつけ、茎が立ち上がるタチイヌノフグリも、校庭ではよく見られます。どちらも、ヨーロッパ原産の帰化植物です。



こちらヨーロッパ原産のオランダミミナグサ。ハコベのなかまです。秋に芽生えて冬を越し、春に成長して花を咲かせます。コハコベも、校庭ではよく見られます。花卉が一見10枚に見えますが、2つずつがもとのところにつながり、5枚です。オランダミミナグサと比べると分かりやすいですね。

オランダミミナグサ(左)とそのアップ(右上)。コハコベ(右下)。



葉をもむとキュウリの匂い^{にお}がする、
キュウリグサ。わすれな草を小さくした
ような花^さが咲きます。直径2ミリほどの
こんな小さな花にも、キマダラハナ
バチなどの蜜^{みつ}を吸^すう小さなハチが来
ます。その他、どこの学校の校庭でもよく
見られそうなものを、写真と名前^なだけあ
げておきます。図鑑^{ずかん}等で調べてみましょ
う。 【理科支援員：宮内】

キュウリグサ(上)とそのアップ(下左)。
その蜜^{みつ}を吸^すうキマダラハナバチ(下右)。



カタバミ(左上)とスズメノヤリ(右上)。ナガミヒナゲシ(左下)とスイバ
(下中)、ツクシ(右中)。ギシギシの葉^はにベニシジミ(右下)。